おやごころ

第89号
平成18年10月16日発行
山口県ＰＴＡ連合会
〒753-0072
山口市大手町2-18
教育会館内
☎(083)925-6778
http//www.yamaguchipta.jp/
yamaguchipta@mx51.tiki.ne.jp

児童生徒数　119,319人
（平成18年5月1日現在）

行きたい学校、帰りたい家庭をめざして

第21回国民文化祭やまぐち2006　子ども夢プロジェクトへの挑戦！

国民文化祭で広がる地域の輪

岩国市立河内小学校

岩国市の山間部、錦川に注ぐ保木川流域に緑の田園が広がっています。河内小学校はその小高い丘の上にあります。

美しい自然に囲まれた地区ですが、ホタルの減少やゴミの増大など、環境面の問題もあります。そのため、地域の環境保護活動として、児童を中心にクリーン作戦等の展開をしてきているところです。

昨年度から地域の方のご協力を得て、無農薬、有機農法のアイガモを使った米作りに取り組み、環境に優しい農業について学習しています。

5、6年生の児童を中心に、地域の方に教わりながら、種籾（たねもみ）を育てるところから、田植え、アイガモの放鳥、稲の観察、収穫までを体験しています。また、できたわらを使って、わら細工や、わらの家づくりにもチャレンジしています。

ここで学習した成果を、国民文化祭の子ども夢プロジェクト「健康一番！アイガモ米でハッピー収穫祭」として、平成18年11月11日に本校の体育館で発表する予定です。

地域、ＰＴＡ、学校が協力して、プロジェクトを成功させようという気運が高まっています。

このことを通して、児童が地域を大切にしていく心を一層強くもつことを願っています。

おにようず百二十一個を連凧にして大空に揚げる

萩市立見島小学校

見島地区には、長男が生まれると「おにようず」という凧を作って、正月に揚げる風習があります。見島小学校では、創立121周年の今年、国民文化祭子ども夢プロジェクトとして、連凧作りに取り組むことになりました。

昨年秋、小さな「おにようず」を作ることから始め、今年度になり、連凧作りを始めました。連凧作りは「伝統的凧の構造を生かすチーム」と「連凧専用の構造を利用するチーム」の2つに分かれて、研究を重ねて行きました。

結局、121個もの凧を揚げるには伝統的な骨組みでは無理であるという結論になりました。

現在、連凧を制作中です。児童数16名では121個もの凧を作るのは難しいので、地域の方々の協力を得て進めています。お盆には、盆踊りの前に凧の絵付けコーナーを作り色を塗ってもらいました。

連凧は10月の見島全国たこあげ大会で揚げる予定です。子ども達や地域の方々の夢をのせた連凧を是非大空に揚げたいと頑張っています。

なお、日々の取り組みは、本校のホームページに掲載していますのでご覧下さい。

ふるさと下関　海峡に響く日新の願い

下関市立日新中学校

日本最大の文化の祭典「第21回国民文化祭・やまぐち2006」が今秋開催されます。中学生として様々な文化に多感なこの時期に、開催県として身近に携われることはとても幸せなことです。その中で今年やまぐち大会のオリジナル企画として大々的に掲げられているのが「子ども夢プロジェクト」です。

これは国民文化祭初のイベントで、子ども達の文化芸術についての夢を県がバックアップして自分達の手で実現するという素敵な企画です。そのひとつに私達、日新中学校の夢が採択されました。

その夢とは、「日新の伝統である群読と合唱を織りまぜて、全校生徒でひとつの大きな舞台作品を作り上げる」というものです。

群読はここ5年間文化祭で取り組んでいます。

また、毎日各クラスでひとつの詩を声と心を合わせ読み上げる「朗唱」は十数年の歴史があります。合唱祭は毎年、梅光学院スタージェスホールで開催し熱い感動を届けています。

他にも文化祭の学年合唱や、手作り卒業式歌など、「歌」は日新の行事には切っても切り離せない大きな感動の源となっています。

この2つの文化を、下関と縁の深い金子みすゞの世界と結び付け発表します。また、当日は金子みすゞ記念館館長の矢崎節夫さんにもご講演をいただきます。

11月7日13ぜひ時30分～下関市民会館にお越しください。

編集後記

「おやじの会」を新たに結成し活動しようとする動きがたかまっています。今こそおやじパワーを子ども達に見せる時。おとうさん出番ですよ！　又国民文化祭「子ども夢プロジェクト」に参加する29団体の皆さん、山口県の元気を全国に発信してください。

「創り上げていくＰＴＡ活動の推進」

山口県ＰＴＡ連合会　会長　松井　繁之

18年度、県Ｐでは代表委員の定数改正後、新組織によるスタートとなり新しい力に期待をしています。

17年度を振り返りますと世間を騒がす大事件や災害、教育に関わる国の動きがありました。昨年秋、台風14号は県東部に甚大な被害をもたらしました。その折りには皆様から多大な義捐金を頂きました。ご厚情に感謝申し上げます。

国は財政改革から教育費の一般財源化を進めましたが、ＰＴＡの皆様の協力の下、短い期間にも関わらず全国で66万筆の署名運動をして頂き、何とか3分の1の国庫負担の継続が決定いたしました。

また、相次ぐ連れ去り事件から地域の防犯体制の見直しが大きくクローズアップいたしました。現在、学校・関係諸機関の連携により「見守り活動」が活発になりましたが、その中心はやはりＰＴＡしかありません。

また、本県でもいじめを苦にした自殺、爆弾事件が発生しました。このような事件は子ども達のおかれている社会的環境や実態を考えますと、どこで発生してもおかしくないことだと感じます。ＰＴＡで事件を風化させることなく、「命の大切さ」「生きる力」また、「有害情報」をテーマとして今後ともご協議頂きたいと願っています。

ご案内

第36回　日本ＰＴＡ中国ブロック研究大会

山口県周南大会

高めよう！
生きる力と見守る力

平成18年11月19日（日）
周南市総合スポーツセンター

子どもたちの生きる力と、大人たちの見守る力の大切さを学び、命の尊さを今こそ見つめ直そう

主管：周南市小学校ＰＴＡ連合会
周南市中学校ＰＴＡ連合会

（社）日本ＰＴＡ全国協議会会長　梅田昭博
日本ＰＴＡ中国ブロック協議会会長　松井繁之

山口県PTA連合会　「小・中学生総合保障制度」

学校週５日制の導入拡大にともなう保障の空白を補う24時間保障

❶ 個人賠償責任保障
他人に傷害を与えた時
❷ 傷害保障
ケガ・熱中症で入通院した時
❸ 携行品保障
学用品などが破損した時
❹ 育英費用保障
扶養者が事故で万一の時
❺ O-157保障
感染症にかかった時

お問い合わせ先（制度引受会社）　AIU保険会社　山口県PTA小中学生総合保障制度統括本部　フリーダイヤル　0120-714-855

山口県ＰＴＡ安全互助会の補償概要

◎ＰＴＡ連合会や単位ＰＴＡが主催・共催するすべての行事で、出発時から帰宅時までの間に事故がおき、ケガなどされたときお支払いします。（会員の家族も対象となります。

種類	見舞金額		
通院	１日　1,000円		
入院	１日　1,800円		
手術	18,000～72,000円		
後遺障害	90,000～3,000,000円		
死亡	3,000,000円		
賠償（身体障害）	賠償（財物障害）	賠償（保管物）	

ぶち かんばっちょる おやじ！

県内で現在66団体の「おやじの会」があります！
その中より７団体を紹介します。

あなたの周りに『おやじの会』ありますか？

防府市　もっと学校を知ろう

華西中学校ＰＴＡ父親環境部
代表者　室積　一成

華西中学校では、日ごろ学校へ来ることの少ない父親の方々に、学校へ足を運んで生徒さんと一緒に行事をしながら、どのような環境で学校生活を送っているか知ってもらうためにＰＴＡの組織の中へ父親環境部を設けられました。活動としましては、学校行事として８月夏休みに行いますリサイクル作戦のお手伝い、ＰＴＡ父親環境部として11月に校舎内のペンキ塗りを生徒さんと一緒になって活動しています。

リサイクル作戦は、各地区が集められた新聞紙や雑誌、アルミ缶などを運搬して資源の大切さを感じながら父親環境部員と生徒さんと一体となって汗をかきながら多くの資源を集めることを行っています。

校舎のペンキ塗りは、父親環境部の部員と希望者の生徒さんで校舎内の壁を一緒になってお互いにコミュニケーションをとりながらペンキを塗ることを行っています。

この活動を通して父親の方々も自分の子どもさんの学校生活を知ってもらう良い機会になっていると思います。今後も、父親の方々が学校へ来て、生徒さんたちとコミュニケーションがとれるような行事に取り組んでいきたいと思います。

光　市　「とにかくやろう」で20年目

光市浅江やろう会
会長　江本　秀昭

浅江やろう会はなんでも「やろう」、とにかく「やろう」、たのしく「やろう」を合言葉に、男の「野郎」をもじり、浅江やろう会と命名し、昭和63年に結成、約20年目を迎えようとしており現在の会員は51名です。地域の為に何か役に立つことをやろうと云う仲間が集まり、楽しみながら活動を行っています。

夏には子ども達に自然の素晴らしさや不思議さを学んでもらおうとサンドアートｉｎ光を行います。サンドアートとは、虹ケ浜海岸の干潮時に出現する干潟を利用し砂を素材とした造形物を作り、その出来栄えを競うものです。満ち潮と共に作品が海の中へ消えてしまうという、ロマンに満ちた、競技会です。

他の事業として、商店街や他の団体と協力して行う、ひかるちゃん祭りやおっぱい祭りなどで、工作教室と称し、木工や竹細工の指導を子ども達に行っています。最近では、子どもだけでなく、福祉施設や公民館行事でも要請があり、指導を行っています。

また、浅江小学校へ隣接する潮音寺山の整備作業を毎月、やろう会のメンバーが中心となって、定期的に行い、子ども達が安全で楽しく自然の中で体験学習や遊びが出来る様、環境作りを行っています。

以上の他に福祉施設での餅つき大会、子ども会のキャンプへの協力等の活動を、参加できる人が楽しみながら参加をし、地域の親父として活動を行っています。

周南市　故郷の思い出づくり

夜市地区親父の会
事務局長　森重　猛

夜市地区親父の会は、夜市小学校おやじの会を母体として、そのＯＢを中心に平成10年に約40名の会員を集め組織しました。会員資格は特に設けず、夜市地区親父の会が行う活動に賛同し、参加する人誰もが会員ということで活動しています。

現在、固定的に活動に参加している者は、約20名です。

親父の会では、地域の風物詩が失われていく中で、子ども達が大きくなって故郷を離れた時、故郷の懐かしい思い出となる行事を中心に活動しています。

具体的な会の活動としては、地域のお宮でのこどもまつりの開催、夜市小学校、夜市幼稚園及び夜市公民館の正門の門松の作成、また、地区内の城山野菜団地に休耕の畠を借り受け、地区特産のさつま芋、里芋、馬鈴薯を植え、その収穫時期にあわせて夜市幼稚園児家族に芋掘り体験学習の場を提供しています。

上関町　「キッズネットワークの会」活動

キッズネットワークの会　会長　光寿　光夫

この会は、ＰＴＡや子ども会などの子育て活動に、地域の方々にも積極的な参加をしてもらう為に結成されました。主に子どもの体験学習を企画し、その準備や運営をすることにより子ども達と顔見知りになったり、地域の者同士が繋がりを持つことが目的です。

会発足当時は、一部の者だけでなんとかやり繰りしていましたが、現在では学校の先生方や地域の方々も進んで活動に参加しています。

年間行事として、「子どもギネスに挑戦」「魚のつかみ取り会」「スキー研修会」を行っています。「子どもギネスに挑戦」は、ぞうきんがけ20ｍ走、スリッパ飛ばしなど9種目で記録を競うものです。「魚のつかみ取り会」は、地域の特性を生かした海岸での行事で、漁協の方の協力もいただいています。「スキー研修会」は中学３年生を対象とした行事で、卒業後の進路が異なる同級生との思い出づくりと、あまり経験できないスキーを組み合わせたものです。

このような活動を通じて感じたことは、子ども達の健全育成を願う気持ちは誰も同じですが、その為には父親だけでも母親だけでも、学校だけでもダメということです。家庭と学校と地域が協力し合い、連携を取りながら活動していくことが大切だと思いました。

萩　市　元気はつらつ「つばき田んぼの会」

会長　林　勝則

椿西小学校「つばき田んぼの会」は平成6年、学校のふるさと学習への協力援助をすることにより、子どもたちの自然を大切にし、地域を愛する心を育てることを目的として結成されたものであり、ＰＴＡとそのＯＢ等が組織している。

今年度は

１年　さつまいも

2年　さつまいも　落花生
3年　大根
4年　とうもろこし
5・6年　もち米

と、全学年の田んぼや畑での栽培活動を支援している。

また、収穫したもち米を使ってのもちつき大会も行う予定である。

土を愛し、ふるさとを愛し、ふるさとに根付いている先輩に触れることは、子ども達に地域のよさを再確認させ、自分にできる小さなことから始めようとする気持ちを育てることに役立っている。

ＯＢの年齢が上がってきたが、まだまだ夢多く、母校の活動にこれからも関わっていきたい。

下関市　無理をせず出来ることからコツコツと

西山小学校　代表者　下牧瀬　健一

学校創立50周年記念事業の一環として、２００１年に父親の会「ＮＩ・ＭＥＮ・ＦＡ」（西山メンズファミリー）を発足しました。会員は28名でスタートし、その後も子どもの卒業や新入学で入れ替わりはあるものの、ほぼ横ばいの人数で活動を続けています。

これまでの活動としては、あいさつ運動とあいさつ標語の看板作り（主な通学路に設置）・地域の歴史紙芝居・地域の歴史めぐりウォーク・竹製水鉄砲作り・学校のトイレ掃除・校舎２階の窓拭き・花壇のレンガ補修・バザーへの出店・ふぐ料理教室などを実施してきました。

会の目的は、他校の「おやじの会」と同じように、普段はなかなか学校行事などに参加出来ない（しない？）「父親同士の親交」「子ども達や学校との交流」「地域との関わりを増やす」ことを目的とし、各学期に１回の活動を目標に、年度始めの総会で年間の活動を確認しています。

これからも、「無理をせず出来ることを行う」ことを心掛け、家庭・学校・地域が三位一体となって、子どもたちを守り地域のネットワークづくりを進めて行きたいと思います。

山口市　「父親自身の成長」を

大歳小おやじガンバル会
会長　恒冨　衛

このおやじの会は大歳小児童全家庭の父親たちです。偶数月に15名の世話役が集まり、奇数月に実行するイベントの企画、立案をし、小学校を通してプリント等で全家庭の父親に参加を募ります。母親の参加も大歓迎です。

平成11年より続いていますが、月度の担当者が少ない脳みそで、一生懸命にユニークな立案をし、サッカー、登山等のスポーツ大会をはじめ、料理教室、流しソーメン、講演会等、イベントは数十種に及び紹介しきれません。

数年前より青少年の行動が社会問題となり、事ある毎に父親の在り方が問われる様になりました。太古の昔より食料の調達係であった男親が、今では単に仕事だけしておればよい時代ではなくなった様です。元々、男と女が２人いて初めて親となる自然の法則から考えてもあたりまえのことかもしれませんが・・

このおやじの会には規約は一切ありませんが、目的として『父親として自分自身の成長』を掲げています。そのために種々のイベントを通して多くの人達と出合い、そして語り合う事を大切にしたいと思っています。

なんとなくイベントをするためにイベントをおこなうのならば、何のためのイベントなのでしょうか。

入賞おめでとうございます

第２８回
全国小・中学校ＰＴＡ広報紙コンクール

レイアウト賞
周南市立周陽中学校ＰＴＡ

佳　作
下関市立勝山中学校ＰＴＡ

山口県ＰＴＡ連合会　第14回海外体験学習
アメリカ体験学習
2007年３月24日（土）～４月４日（水）　12日間
ホームステイとスクール交流・ロサンゼルス　ディズニーランド見学
定員 40人程度（山口県内の中学校在籍の現１・２年生）
連絡先　山口県ＰＴＡ連合会　083-925-6778

今年度募集
子ども写真コンテスト
子どもたちの写真展　作品募集中
～大人になっても残したい風景・もの・こころ～
感動を写真に残そう！
応募締切 12月 20日